キャラクター名
柿本　国裕　（かきのもと　くにひろ）

プレイヤー名

シンドローム	エンジェルハィロゥ オルクス	ワークス	歌人	カヴァー	情報通
オプショナル		年齢	数え17歳	性別	男
覚醒	憤怒	衝動	嫌悪	初期侵食率	32 %
出自	義理の両親	経験	戦い	邂逅	自身

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	0		1			1
感覚	4		2			6
精神	2		0			2
社会	2	1	0			3

HP	24
行動値	14
(非装備時)	14
戦闘移動	19
全力移動	38

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			ＲＣ			交渉	1	
回避			知覚			意志			調達		
運転：			芸術： 和歌	4		知識：			情報： 噂話	1	
運転：			芸術： 管弦	2		知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
CR＋光の弓＋大地	ＲＣ	2r		6		侵:4　C値:8
天使＋要		0				侵:8
100↑全部乗せ、和歌使用	ＲＣ	9r+9		28		侵:11　C値:7

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
歌聖	P	N		
PC1	P　執着	N　偏愛		
柿本　（かきのもと）	P　感服	N　隔意		
藻女（九尾）	P 親近感	N 不信感		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 6	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
CR：エンハイ	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果：	C値-Lv値							
光の弓	1	1	メジャー	視界	-	対決	-	
効果：	攻撃力＋【Lv＋2】　同エンゲージ不可							
マスヴィジョン	3	4	メジャー	-	-	対決	100	
効果：	攻撃力＋【Lv×5】　シナリオ3回							
要の陣形	1	3	メジャー	-	3体	-	-	
効果：	対象3体に変更　シナリオLv回							
大地の牙	1	1	メジャー	視界	-	対決	-	
効果：	攻撃力＋【Lv＋2】　ドッジ判定D-1　同エンゲージ不可							
天使の階梯	1	5	メジャー	視界	単体	自動	80	
効果：	対象メジャー判定C値-1　達成値【Lv×2】							
光芒の疾走	1	1	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果：	戦闘移動、離脱可　シーンLv回							
	★							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

「『ここだけの話』というのは、いわば拡散してくれと言っているようなものだと私は思うのだけど……どうかな？」
元孤児で川下で歌人の真似事をして歌をうたっていたところ歌人で有名な柿本家の当主の目に止まり、養子となった。

ひとの欲深い本心を隠しながら善性の仮面を被っている姿も、被らずに好き勝手欲深い姿もどちらも甲乙つけがたい
欲深い姿ひとが作り出した物語が好きであり、それが善だろうが悪だろうが関係ない。等しくひとの綺麗で汚い素晴らしい物語だよね。
歌人としての才能に恵まれているが、倫理観は少し欠如している。いわゆる人でなし。
ひとの不幸も幸せも理解出来るが共感出来ない。なんなら聞いた話を自身の歌の材料扱いにする。

愛想は悪くなく、才のある人間なので周りからは好意的に見られることが多く、よく相談事に乗ったり噂話という名の情報を数多く聞いている。が、これは善意からではなく、面白い話あるじゃないか。という自身の創作のためである、まさに他人事。でも一応後味の悪い話よりはいい話に終わるほうが歌として評価は高いんだよね。だからわざと駄目な方向に誘導することはないよ。あ、でも皆悲恋は別腹みたいだけれど。

PC1の事件に関わった際で出会い、ツノ目撃。物の怪と判断し、こちらに襲い掛かってくるかと思っていた（やられたらやり返すくらいの気持ちではいた）が、そうでもない。面白い玩具を見つけたテンションの如く自身が持つ地位で空き家を準備し、与えた。物の怪と交流を持つのは初めてだぞー！
「君名前は？行く当てはあるのかい？」
この後どういった物語が紡がれるのか見たかったともいう。殺人現場？人殺し？京ではよくあることだし、帝の園ではもっとえぐいことが毎夜行われているさ。

そのうちお礼など礼儀正しい青年であるにも関わらず、こちらに頼ることなく野盗・暗殺行為をし始めたので、お！！いよいよ本能で動いているか？と思って観察してたら自己嫌悪の塊、何だったら自身の物の怪に関してひどい棚上げ行為・思考をしていることを理解し驚愕。
このとき柿本にとってPC1は物の怪であり珍しい創作材料ではなく、欲に苦しみ足掻いている自分の愛すべき物語の可能性を持ったひとなのだと判断した。おまんはひと。
「君は物の怪なんて物騒なものじゃない。れっきとしたひとさ」